

2012年度

北海道大学 体験型日本語プログラム

概要



北海道大学 国際本部

2012年度 北海道大学 体験型日本語プログラム

北海道大学体験型日本語プログラムは、日本語・日本文化を専攻する学生や日本に関心のある日本語上級者で、夏休み中の短い期間、日本で社会体験を含む実践的な日本語学習をしたいと考える学生を対象としています。このプログラムでの社会体験期間は1週間で、北海道で最も人気のある観光リゾート地の一つ、ニセコ町で行われます。研修にあたって、事前に2週間のトレーニングが行われ、そこで実地で使う日本語スキルを磨くことができます。1週間の研修では観光施設に宿泊し、仕事をしながら日本語を実際に使い、日本人の生活や社会について学びます。また、研修から戻った後、発表会を行い、研修の成果を報告します。

現地での体験期間中、地元の日本人との日本語によるコミュニケーションの必要があることから、参加者には日本語上級レベル（日本語能力試験 N2 以上）の力が要求されます。

期待される成果

プログラム修了時、参加者には下記の成果が期待されます。

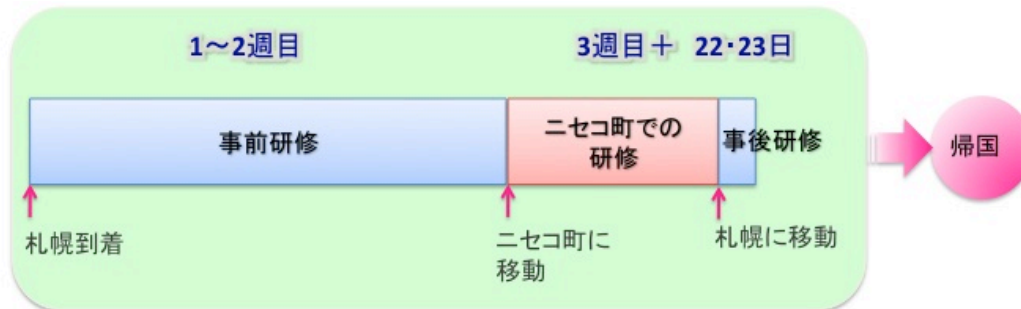
- 丁寧語、尊敬語、謙譲語等、日本の社会の中のあらたまった場で使うべき表現を適切かつより効果的に用いることができ、自信がつく
- リゾート地で旅行客をもてなす経験を通じて、日本の生活や社会について知ることができる
- 町の価値を世界に知らしめようという、地元の人々の努力を現場で体験することができる
- 豊かな自然や地域の文化をはじめとする町の資源について、自分の国の人々により広く知ってもらうにはどうすれば良いか、町の人々に提案し、貢献することができる

プログラム実施期間

2012年度は、7月9日（月）開始、7月31日（火）終了（約3週間）です。

プログラムの内容

このプログラムは次の3つから構成されます：(1) 事前研修 (2週間)、(2) ニセコ町での研修 (1週間)、(3) 事後研修 (2日間+レポート作成)



(1) 事前研修

ニセコ町で日本の社会を体験するための日本語、経験を伝えるために必要な日本語を学び、使えるようにします。また、ニセコ町という地域や観光産業について知り、参加者が日本の地域社会に貢献できることを視野に入れた研修を行います。

1) 日本語

日本社会で人間関係を円滑に進めるための日本語を学び、実習します。以下のような内容が含まれます。

待遇表現

敬語など相手に失礼のない表現、職場の人やゲストに対する言葉の使い分けなど、人間関係によって異なる日本語表現を中心に学びます。

電話の応対

日本語での丁寧な電話の応対を学びます。

メールの書き方

依頼、お礼など、フォーマルなメールの書き方を学びます。

2) 講話

ニセコ町や大学院国際広報メディア・観光学院の先生をお招きし、お話をうかがいます。研修先について学ぶとともに、日本語を聴く力も養います。

3) グループ学習

講話の講師を交えての質疑応答や、グループディスカッション、ニセコ町や観光産業について調べ、発表することによって、新たな知識を得るとともに、日本語を話す力・読む力を養います。

(2)ニセコ町での研修

ニセコ町について知るための研修の後、ペンション^{※1}に滞在し、日本の人間関係と観光現場を体験します。経営者または従業員や宿泊施設のゲストと日本語で積極的にコミュニケーションすることが求められます。

ご協力いただいている国際広報メディア・観光学院の先生より、研修内容^{※2}について、以下のメッセージをいただいています。

※1 施設の状況によってはペンション以外の場所になることもあります。

※2 研修内容は現地の状況により変更する場合があります。

国際的に冬のリゾートとして人気の高いニセコですが、夏の間も過ごしやすく涼しいことに加え、様々なアウトドア活動が出来るなど、多くの観光客が訪れます。

そのニセコの中に「ペンション」(仏語)と呼ばれる朝・夕の食事付きの小規模なホテルが多くあります。大規模なホテルではできない家庭的なホスピタリティが魅力となる宿泊施設です。

留学生の皆さんには、受け入れを引き受けていただくペンションにおいて、宿泊施設のスタッフとして、様々な仕事をお手伝いいただきます。接客、料理の手伝い、後片付け、清掃など、小規模なだけに、様々な仕事をオーナーの指示を受けて行うこととなります。

オーナー、客との身近な交流を通じた小規模なホスピタリティ産業の現場で、少し変わった日本の経験をしてみませんか。

(3) 事後研修

ニセコ町で経験したことをまとめ、日本語でアウトプットします。

1) 発表会

ニセコ町の方々をお招きし、研修での経験を発表します。発表は、ニセコ町の方々にとっても重要なフィードバックとなります。発表会に先立ち、1日間準備を行い、発表で使う日本語についても学びます。

2) レポートの作成

ニセコ町での経験をレポートにまとめます。レポートは帰国してから執筆していただき、後日メールで提出します。提出されたレポートはレポート集としてまとめ、参加者のみなさんにお送りするとともに、ニセコ町の方々にもさしあげます。

(4) ソーシャルメディアの活用

滞在中および帰国後、Facebook などを使って、ニセコ町のプロモーションが可能な方は可能な範囲で情報発信のご協力をお願いいたします。

修了証

以下の終了要件を満たした参加者には、修了証が授与されます。

1. 事前・事後研修の所定の授業時間の 80%以上に出席
2. 事前・事後研修の履修状況、研修先での研修態度、発表が良好

費用

2012 年の参加者に限り、以下の経費を北海道大学が負担します。

- ・ 宿泊費（札幌とニセコ町両方）
- ・ 授業料
- ・ 北海道大学と研修先（ニセコ町）との間の往復交通費

2012 年の参加者は、以下の項目について負担することになります。

- ・ 海外旅行傷害保険料（必須）
- ・ 自国と札幌との間の往復交通費（新千歳空港、札幌間の交通費（片道 1,040 円）を含む）
- ・ 食事（大学の学生食堂を利用する場合、1 食 400 円～500 円程度必要）
- ・ その他個人的な支出

宿泊先

札幌とニセコでの宿泊先については、こちらで手配します。

利用可能な施設

参加者は学生食堂、図書館、国際本部にある留学生用のコンピューター室等の施設が利用できます。また、北大のオンラインシステムにアクセスするための ID が付与されるので、各自のコンピューター上での Wi-Fi の利用が可能となります。

なお、パソコンはご持参ください。

保険

旅行・滞在中の事故、病気、けが、損害賠償請求等の費用については北海道大学では負担しません。各自、参加前に自国で海外旅行傷害保険に加入する必要があります。

個人情報の利用

プログラムへの応募の際に提出した個人情報は、プログラムの運営のみに利用し、その他の目的には使用しません。

初めて実施するプログラムとして、今回の実施状況をもとに、今後よりよいプログラムを開発していく予定です。そのため、インタビュー、授業内容、プログラム期間中に撮影した写真、プログラムで作成したレポート集の全部または一部を報告や広報媒体等に掲載することをご了承ください。

日程表

2012プログラム日程 (予定)

2012年7月

Mon	Tue	Wed	Thurs	Fri	Sat	Sun
2	3	4	5	6	7	8 渡日
9 開講式 オリエンテーション 講話1 ディスカッション	10 日本語1 日本語2 日本語実習	11 日本語3 日本語4 日本語実習	12 日本語5 日本語6 日本語実習	13 日本語7 日本語8 日本語実習	14	15
16 休日	17 講話2 質疑・ディスカッション 日本語実習	18 講話3 質疑・ディスカッション 日本語実習	19 報告の書き方 情報検索・図書館の使い方 実習(調べ学習)	20 学生による発表 ディスカッション	21	22 ニセコへ移動
23	24	25	26	27	28 ニセコより移動	29
現地での研修						
30 ディスカッション 発表準備	31 成果発表会 (研修先他関係者等) 閉講式 交歓会	修了後帰国				

- * 事前・事後研修中の授業は基本的に8:45に始まり14:30に終わりますが、異なる場合もあります。
- * 時間割は、8:45~10:15(1時間目)、10:30~12:00(2時間目)、13:00~14:30(3時間目)です。
- * 詳細はオリエンテーションでお知らせします。